



青いバラ・ブルーローズ～夢かなう～

花の女王として多くの人に愛されているのがバラの花です。その歴史の中で何度も品種改良がなされ、赤や黄色、ピンク、白など、様々な色の花を咲かせます。情熱的な赤いバラは、恋人へ贈る花として特に有名です。

しかし、皆さんは、青いバラを見たことがありますか。

実はとても古い歴史のあるバラですが、つい最近まで青いバラを作ることは不可能だとされていたのです。青い色素を持たないバラ……。青いバラ「Blue Rose」は長いこと「不可能」または「存在しないもの」の象徴とされてきました。

平成23年6月11日の大阪日日新聞に次の記事が載りました。シリーズ「につぼん発明発見列伝」の一つとして掲載された記事です。

「青いバラ」「遺伝子組み換えで実現」～不可能覆し 夢かなう～

英語の「ブルーローズ（青いバラ）」は「不可能」の意味があります。それを覆し見事に青いバラの花を咲かせたのは、サントリー植物科学研究所（大阪府島本町）所長田中良和さん（52）らの研究グループです。

花は、生まれながらに持っている遺伝子で、どんな色になるか決まっています。遺伝子が色素をつくり赤やピンクになりますが、バラにはもともと、青の色をつくる遺伝子がありません。

古くから多くの人がバラづくりに挑み、青っぽく見える品種はあったものの、色素が青かったわけではありません。

田中さんたちは、近年発達した遺伝子組み換え技術を活用し、1990年に研究を始めました。

ペチュニアの青い花びらから青色色素をつくる遺伝子を取り出し、青いカーネーションの開発に成功したものの、バラは青色色素をつくらず、青くはなりませんでした。

さまざまな青い花の遺伝子を試し、パンジーの遺伝子で青色色素ができることを突き止めました。「なぜ、パンジーの遺伝子で成功したのかは分かりません。生き物相手なので、カーネーションでできて、バラでうまくいくとは限らないところが難しい。」と田中さん。

2004年に世界で初めて青色色素ほぼ100%のバラが誕生。09年から「夢かなう」の花言葉をもつ生花として売られています。

ただし、青いバラの花弁は紫がかかった上品な色合い。「花の色は、土の酸性、アルカリ性の度合いや生育環境などでも変わってきます。もっと青くしたいと思い研究中で、これからも今までにないものをつくる努力をしたい。」と田中さんは、青い菊やユリづくりに励んでいます。



さて、小学校の卒業は、今までの少年時代との離別であると同時に、新しい青年時代への新たな「夢かなう」日への出発となります。これから始まる中学校生活においては、あきらめずに研究を重ねて、不可能と言われた青いバラをついに作りあげた田中さんたちのように「努力」「困難に負けない気持ち」で卒業生一人一人が青いバラ・ブルーローズを咲かせてほしいと願っています。卒業おめでとう！

同窓会入会式

須二小同窓生としての誓いを新たに 誇りを持って！

3月14日（水）に須二小同窓会入会式が、本校多目的室で行われました。古寺純同窓会長様より、卒業生67名の同窓会入会の承認をいただきました。

古寺 純同窓会長様のあいさつを紹介します

須賀川第二小学校同窓会へのご入会をうれしく思います。

同窓会には、これまで約1万7千名の先輩がいらっしゃいます。地域や全国で活躍しています。その後を引きついでほしいと思います。皆さんは、東日本大震災の後に学んできました。人生の中で大切な時期を過ごしてきました。中学校でもこれまで経験したことをそれぞれの思いを胸に、自らの力で切り開いてください。同窓会は、皆さんを応援、支えていくものです。同窓会の一員として、母校のために尽くしてほしいと思います。

中学校に行っても健康に留意し、勉学に励んでください。



誓いのことば 6年 安齋 朴音

私たち、平成29年度の卒業生67名は、数多くの先輩方が築いてくださった、このすばらしい須賀川市立第二小学校の卒業生としての誇りをもち、高い目標に向かって、一步一步 歩んでいく覚悟です。

4月には、中学校に進学しますので、自分の目標に向かって、感謝の気持ちを忘れず、一日一日を大切に、努力を積み重ねていくことを誓います。

本番さながら 真剣さが増してきた 卒業式練習！

卒業式は、6年生にとって最後の授業であり、今まで育てていただいた方々に感謝を表す場でもあり、1年生からこんなに成長したことを見ていただく場でもあります。そのため真剣に練習を重ねています。



卒業式関係代表者

1 卒業式

(1) 記念品授与

○ 6年1組 松原 栞 (教育委員会より)

○ 6年3組 大石 和輝 (PTAより)

(2) ピアノ伴奏

○ 6年2組 鮎澤 京奈 (「最後のチャイム」)

○ 6年1組 池島 祐奈 (「大空が迎える朝」)

(3) 見送り 校旗保持者

5年1組 武藤 光輝

2 同窓会入会式

誓いのことば ○ 6年2組 安齋 朴音

6年生を送る会 6年 関根 桃花

今日は、私たちのために素敵な会を開いてくださってありがとうございます。

1・2年生のおもてなしはかわいらしく、私もこんなに小さかったなあと思いながら、やさしい気持ちで見えていました。3・4年生のおもてなしは、アイデアいっぱいでもとても楽しくたくさん笑いました。4・5年生の鼓笛の演奏もとても立派で迫力があり、感動しました。

5年生のみなさん、今までの準備ありがとう。招待状もていねいに作ってくれたなあと思いました。今日の会場もとてもきれいですごくうれしかったです。

私はこの学校が大好きです。去年先輩から学校のリーダー役を任されてから私たちは、伝統を引き継ぎつつ、新しいことをいろいろやってきました。次は5年生のみんなの番です。二小をよろしく願います。

鼓笛引き継ぎ式 5年 村上 沙椰

私は、鼓笛隊のけんぱんハーモニカのパートリーダーとしてやってきました。初めての練習の時、とてもきんちょうしました。4年生に分かりやすく教えるには、どうしたら良いのだろうかと考えました。4年生が少しずつふけるようになっていくのが、私もうれしかったです。先生方にも支えてもらいながら、練習を重ねてきました。全体練習では、注意されることもありましたが、全体では音がそろってほめられるとうれしい気持ちになりました。

本番では、先生に言われた「ゆっくり落ち着いて」を頭に入れて一生けんめいに演じました。終わった時、6年生がはくしゅしてくれてほっとしました。

6年生がわたしてくれたバトンを、私たちも4年生にきちんとわたせるようにしたいです。